



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月27日

上場会社名 株式会社ファインシンター 上場取引所 東・名
 コード番号 5994 URL <https://www.fine-sinter.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上 洋一
 社長執行役員
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 小林 努 (TEL) 0568-88-4355
 経理部長
 四半期報告書提出予定日 2022年11月8日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	19,623	2.6	△677	—	△341	—	△342	—
2022年3月期第2四半期	19,120	30.8	255	—	424	—	248	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 364百万円(26.7%) 2022年3月期第2四半期 287百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△77.72	—
2022年3月期第2四半期	56.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	51,540	20,988	35.2	4,122.20
2022年3月期	51,052	20,888	35.4	4,102.48

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 18,141百万円 2022年3月期 18,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2023年3月期	—	10.00			
2023年3月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	2.7	200	△54.1	300	△58.6	100	△52.0	22.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	4,420,000株	2022年3月期	4,420,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	19,144株	2022年3月期	19,144株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	4,400,856株	2022年3月期2Q	4,400,921株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和等により緩やかな回復基調で推移する一方で、ウクライナ情勢の長期化、原材料やエネルギー価格の高騰、更には急激な円安やインフレ懸念の高まりなどから、先行き不透明な状況は続いております。

当社グループ製品の主要市場である自動車産業においては、世界的な半導体不足及び原材料やエネルギー価格高騰の影響があり、当社としても厳しい経営環境状況となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は196億23百万円（前年度比2.6%増）となり、営業損失は6億77百万円と前年同四半期に比べ9億33百万円の減益となりました。また急激な為替の円安進行に伴う為替差益3億66百万円の計上等により、経常損失は3億41百万円と前年同四半期に比べ7億66百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億42百万円と前年同四半期に比べ5億90百万円の減益となりました。

このような状況の中、当社は「中期経営計画2025」に沿った取組みを着実に継続しています。電動化対応については、将来に向けた開発推進に加え、新型ハイブリッド車用のインバーター部品の追加受注により、23年初に増産、24年央には更に生産ラインを増設予定です。デジタル技術と匠の技の融合によるモノづくり革新「未来Factory」の実証を継続し、来年度から工場へ展開予定です。また、グローバル最適生産の一環で、タイ子会社第二拠点の立上げ準備を推進中です。あわせて、食糧課題対応としての昆虫食事業を含めた新規事業開拓、カーボンニュートラルへの取組み、人的資本への投資含めたESG経営などに積極的にリソースを投入し、将来の収益力確保、企業価値向上への取組みを推進しております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①自動車焼結事業

急激な為替の変動影響を除くと、国内、米国を中心とした半導体不足に伴う得意先での生産調整の影響等で販売量減少となりました。当社グループとしては、休業日設定等による稼働調整、省人推進及び生産課題の解消等に取り組みましたが、原材料やエネルギー価格高騰の影響等を吸収しきれず、大幅な減益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は176億85百万円と前年同四半期と比べ4億9百万円（2.4%）の増収となり、セグメント損失につきましては、95百万円と前年同四半期と比べ8億99百万円の減益となりました。

②鉄道焼結事業

新幹線用ブレーキライニング及び新幹線用すり板の搭載車両増加が売上増に寄与しておりますが、2020年度第2四半期以降の新型コロナウイルス感染拡大に伴う減便等の影響による、発注数の減少、及び原材料やエネルギー価格高騰の影響等もあり、減収減益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は7億28百万円と前年同四半期と比べ85百万円（△10.5%）の減収となり、セグメント利益につきましては、21百万円と前年同四半期と比べ44百万円（△67.2%）の減益となりました。

③油圧機器製品事業

昨年に引き続き画像診断機器用製品が高水準で推移し、それに加え、北米向けデンタルチェア用製品にも堅調な受注が見られるなど、当第2四半期連結累計期間においては総じて好調な市場環境にありました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は12億3百万円と前年同四半期と比べ1億76百万円（17.2%）の増収となり、セグメント利益につきましては、3億58百万円と前年同四半期と比べ64百万円（21.9%）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産は515億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ、4億88百万円増加いたしました。これは、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比12億18百万円減）、原料価格の高騰などに伴う原材料及び貯蔵品の増加（前連結会計年度末比4億91百万円増）、新規品対応設備投資等による有形固定資産の増加（前連結会計年度末比10億66百万円増）によるものであります。

(負債)

負債は305億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ、3億88百万円増加いたしました。これは、急激な円安進行に伴う為替換算差による短期借入金の増加（前連結会計年度末比6億11百万円増）、電子記録債務の減少（前連結会計年度末比1億61百万円減）、長期借入金の減少（前連結会計年度末比1億66百万円減）によるものであります。

(純資産)

純資産は209億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ、99百万円増加いたしました。これは、主に世界的な半導体不足、原材料やエネルギー価格高騰の影響等による利益剰余金の減少（前連結会計年度末比4億30百万円減）、円安進行に伴う為替換算調整勘定の増加（前連結会計年度末比7億12百万円増）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2022年4月27日に公表いたしました連結業績予想から修正しております。

詳細につきましては、本日（2022年10月27日）公表いたしました「第2四半期連結累計期間における業績予想値と実績値との差異ならびに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,969,402	4,751,023
受取手形及び売掛金	7,427,045	7,412,676
電子記録債権	1,474,595	1,460,820
商品及び製品	1,226,593	1,227,867
仕掛品	1,981,340	2,010,243
原材料及び貯蔵品	3,155,611	3,646,714
その他	252,940	404,642
流動資産合計	21,487,529	20,913,988
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,418,154	15,108,278
減価償却累計額	△9,323,005	△9,701,964
建物及び構築物(純額)	5,095,148	5,406,314
機械装置及び運搬具	53,226,688	55,726,535
減価償却累計額	△40,552,832	△42,537,210
機械装置及び運搬具(純額)	12,673,855	13,189,325
工具、器具及び備品	6,051,353	6,578,864
減価償却累計額	△5,204,741	△5,690,796
工具、器具及び備品(純額)	846,611	888,067
土地	3,574,072	3,617,908
リース資産	1,531,838	1,625,864
減価償却累計額	△723,547	△807,276
リース資産(純額)	808,290	818,587
建設仮勘定	2,244,880	2,389,130
有形固定資産合計	25,242,859	26,309,333
無形固定資産		
電話加入権	11,407	11,407
リース資産	6,927	2,830
その他	503,389	580,704
無形固定資産合計	521,724	594,942
投資その他の資産		
投資有価証券	2,586,299	2,343,189
長期貸付金	12,179	12,373
繰延税金資産	1,169,221	1,333,632
その他	32,702	33,191
投資その他の資産合計	3,800,403	3,722,385
固定資産合計	29,564,986	30,626,662
資産合計	51,052,516	51,540,651

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,142,857	3,079,293
電子記録債務	3,043,927	2,882,248
短期借入金	9,059,950	9,671,750
1年内返済予定の長期借入金	2,006,598	2,308,707
リース債務	187,119	122,762
未払法人税等	140,193	65,617
未払消費税等	207,162	108,384
未払費用	702,373	723,660
賞与引当金	944,637	888,601
役員賞与引当金	38,248	16,948
設備関係支払手形	59,009	12,289
営業外電子記録債務	395,548	520,782
その他	722,217	752,639
流動負債合計	20,649,844	21,153,686
固定負債		
長期借入金	4,271,398	4,104,580
リース債務	739,903	824,599
繰延税金負債	36,348	43,657
役員退職慰労引当金	119,004	96,968
退職給付に係る負債	3,986,137	3,961,172
資産除去債務	356,486	361,254
その他	4,998	6,389
固定負債合計	9,514,278	9,398,623
負債合計	30,164,122	30,552,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,203,000	2,203,000
資本剰余金	1,721,609	1,721,609
利益剰余金	11,778,048	11,347,982
自己株式	△30,976	△30,976
株主資本合計	15,671,681	15,241,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,198,486	1,027,251
為替換算調整勘定	1,067,027	1,779,409
退職給付に係る調整累計額	117,214	92,934
その他の包括利益累計額合計	2,382,729	2,899,596
非支配株主持分	2,833,982	2,847,129
純資産合計	20,888,393	20,988,341
負債純資産合計	51,052,516	51,540,651

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	19,120,013	19,623,026
売上原価	16,835,425	18,121,126
売上総利益	2,284,587	1,501,899
販売費及び一般管理費	2,028,902	2,179,435
営業利益又は営業損失(△)	255,685	△677,535
営業外収益		
受取利息	5,998	6,617
受取配当金	36,027	39,076
為替差益	—	366,273
助成金収入	286,055	99,844
雑収入	23,076	38,542
営業外収益合計	351,157	550,355
営業外費用		
支払利息	99,765	110,953
固定資産除却損	52,942	69,243
為替差損	3,902	—
雑支出	26,061	34,470
営業外費用合計	182,671	214,666
経常利益又は経常損失(△)	424,171	△341,846
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	424,171	△341,846
法人税等	96,600	△37,851
四半期純利益又は四半期純損失(△)	327,571	△303,995
非支配株主に帰属する四半期純利益	79,321	38,054
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	248,249	△342,049

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	327,571	△303,995
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82,406	△171,235
為替換算調整勘定	△105,756	863,673
退職給付に係る調整額	△16,801	△24,208
その他の包括利益合計	△40,152	668,230
四半期包括利益	287,418	364,235
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,479	174,709
非支配株主に係る四半期包括利益	99,939	189,526

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

1. 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車 焼結事業	鉄道 焼結事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,275,424	813,186	1,026,776	19,115,388	4,624	19,120,013	—	19,120,013
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	17,275,424	813,186	1,026,776	19,115,388	4,624	19,120,013	—	19,120,013
セグメント利益	804,250	66,258	294,509	1,165,017	1,356	1,166,374	△910,689	255,685

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電及び売電、食品に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額△910,689千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車 焼結事業	鉄道 焼結事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,685,307	728,163	1,203,596	19,617,067	5,959	19,623,026	—	19,623,026
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	17,685,307	728,163	1,203,596	19,617,067	5,959	19,623,026	—	19,623,026
セグメント利益 又は損失(△)	△95,224	21,714	358,914	285,404	2,642	288,046	△965,582	△677,535

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電及び売電、食品に関する事業です。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△965,582千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。